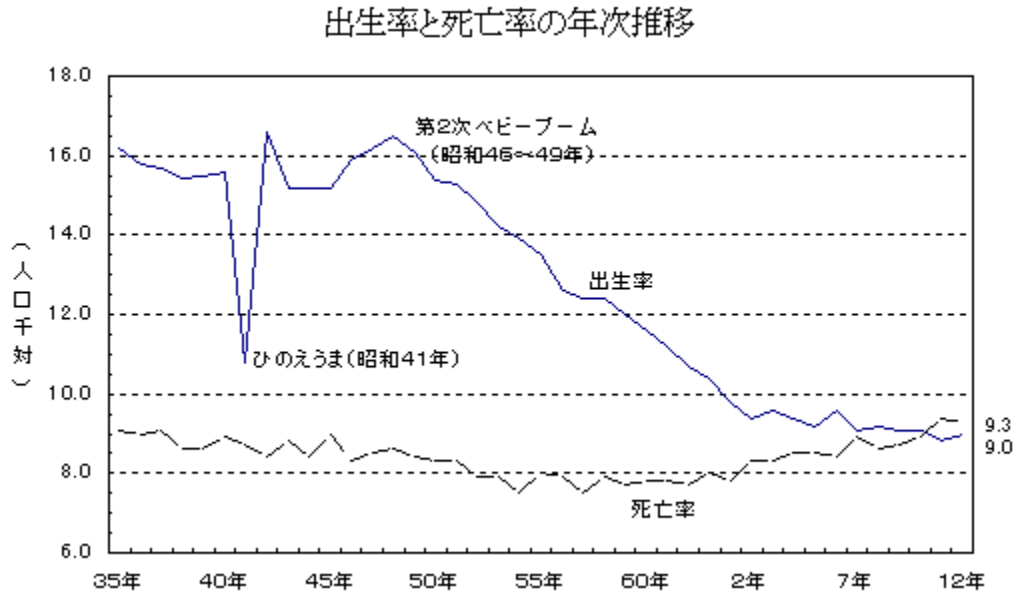




### 3 死亡数（率）

(1) 死亡数は、11,289人で前年より149人減少した。

死亡率（人口千対）は、昭和57年以降上昇傾向にあるが、平成12年は9.3となり、前年の9.4を下回った。

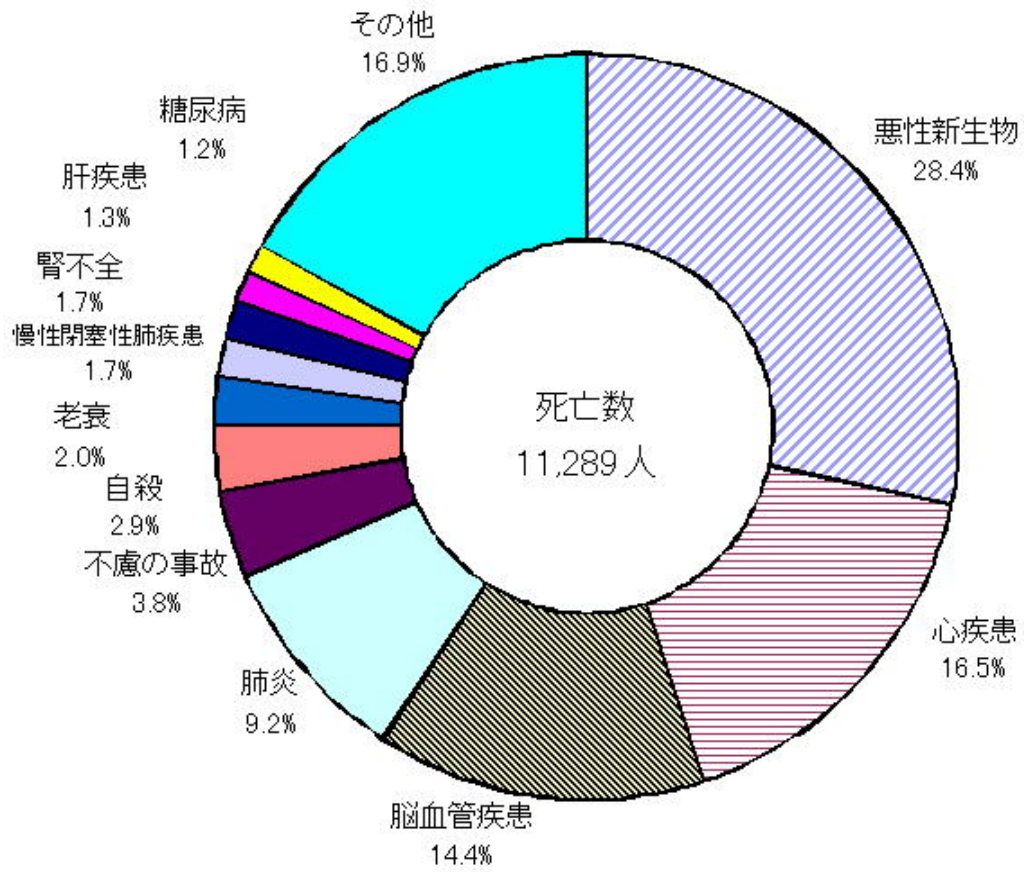


(2) 死因順位についてみると、第1位は悪性新生物（28%）、第2位は心疾患（17%）、第3位は脳血管疾患（14%）で、この三大死因が死亡数の約6割を占めている。

死因別死亡数を前年と比較すると、減少したのは、老衰（57人減）、肺炎（50人減）、心疾患（45人減）、腎不全（29人減）などであり、増加したのは、自殺（42人増）、悪性新生物（28人増）などである。

なお、悪性新生物の部位別の死亡順位をみると、肺がん（20%）を筆頭に、胃がん（15%）、肝がん（14%）、大腸がん（12%）と続き、この4つで悪性新生物全体の約6割を占めている。

平成12年 死因別死亡割合



4 自然増加数（率）

(1) 出生数から死亡数を差し引いた自然増加数は、マイナス379人で、前年に続き死亡数が出生数を上回る自然減の状態となったが、その減少幅は345人縮小した。

自然増加率（人口千対）は、マイナス0.3で前年のマイナス0.6に比べ、減少幅が縮小した。

(2) 出生数が死亡数を上回り自然増加となったのは、大分市、中津市及び挾間町の3市町である。

市町村別自然増加数の推移

区分	平成10年			平成11年			平成12年				
	出生数	死亡数	自然増加数	出生数	死亡数	自然増加数	前年対比	出生数	死亡数	自然増加数	前年対比
44 県 計	11,129	10,839	270	10,714	11,438	△724	△954	10,910	11,289	△379	945
201 大分市	4,766	2,472	2,294	4,517	2,690	1,827	△467	4,682	2,659	2,023	196
202 別府市	1,015	1,154	△139	967	1,218	△231	△92	1,035	1,267	△232	△1
203 中津市	708	552	156	696	647	49	△107	685	619	69	20
204 日田市	604	573	31	576	609	△33	△54	555	606	△43	△10
205 佐伯市	461	404	57	424	458	△34	△91	440	454	△14	20
206 臼杵市	261	346	△85	279	376	△97	△12	274	352	△78	19
207 津久見市	173	250	△77	156	253	△96	△18	147	244	△97	△2
208 竹田市	118	244	△126	104	231	△127	△1	114	232	△118	9
209 豊後高田市	136	240	△104	142	260	△118	△14	141	211	△70	48
210 杵築市	185	233	△48	215	263	△48	0	201	217	△16	32
211 宇佐市	443	508	△65	449	601	△153	△88	465	543	△78	75
301 大田町	9	32	△23	16	29	△13	4	8	35	△26	△11
302 真玉町	25	63	△38	24	77	△53	△15	21	74	△53	0
303 香々地町	32	40	△8	24	53	△29	△21	22	44	△22	7
321 国見町	27	104	△77	33	88	△55	22	30	81	△51	4
322 新島町	19	29	△10	15	36	△21	△11	15	33	△18	3
323 国東町	110	187	△77	90	165	△75	2	108	186	△78	△3
324 武蔵町	53	69	△16	55	79	△24	△8	51	78	△27	△3
325 安岐町	83	102	△19	69	126	△57	△38	68	107	△39	18
341 日出町	237	207	30	236	249	△13	△49	223	230	△7	12
342 山香町	47	129	△82	60	110	△50	32	57	105	△48	2
361 野津原町	19	68	△49	40	68	△28	21	20	73	△53	△25
362 狭間町	121	118	3	133	118	15	12	131	128	3	△12
363 庄内町	53	118	△65	36	138	△102	△37	29	136	△73	29
364 藤布院町	106	110	△4	115	110	5	9	105	124	△19	△54
381 佐賀町	67	182	△115	75	171	△96	19	59	169	△110	△14
401 上浦町	14	35	△21	18	41	△23	△2	11	42	△31	△8
402 新井町	62	107	△45	53	87	△34	10	56	111	△55	△29
403 本匠村	18	29	△11	10	22	△12	△1	12	19	△7	5
404 宇日町	20	50	△30	13	47	△34	△4	19	52	△33	1
405 直川村	14	49	△35	12	35	△23	12	25	44	△19	4
406 鶴見町	31	51	△20	25	64	△39	△22	25	31	△6	29
407 米水津村	12	37	△25	12	27	△15	10	11	29	△18	△3
408 藤江津町	76	131	△55	73	122	△49	6	55	138	△83	△34
421 野津町	68	115	△47	62	124	△62	△15	60	108	△48	14
422 二重町	152	238	△86	145	223	△78	8	150	214	△64	14
423 清川村	14	37	△23	16	30	△14	9	22	34	△12	2
424 糖方町	35	127	△92	44	108	△64	28	32	106	△74	△10
425 朝地町	21	59	△38	19	38	△19	19	18	47	△29	△10
426 大野町	27	86	△59	25	73	△48	11	24	68	△44	4
427 千歳村	13	30	△17	25	25	0	17	8	27	△19	△19
428 犬飼町	26	49	△23	17	43	△26	△3	29	50	△21	5
441 萩佐町	18	45	△27	27	38	△11	16	27	32	△5	6
442 久住町	32	66	△34	25	49	△24	10	27	56	△29	5
443 直入町	10	32	△22	17	32	△15	7	16	32	△16	△1
461 九重町	71	120	△49	70	115	△45	4	78	140	△62	△17
462 秋津町	166	197	△31	172	192	△20	11	169	222	△53	△33
481 南津江村	15	17	△2	12	15	△3	△1	9	22	△13	△10
482 中津江村	13	14	△1	9	15	△6	△5	8	20	△12	△6
483 上津江村	9	13	△4	11	13	△2	2	9	15	△6	△4
484 大山町	26	40	△14	28	51	△23	△9	30	45	△15	△8
485 天瀬町	59	111	△52	41	94	△53	8	45	107	△62	△8
501 三光村	65	73	△8	28	88	△60	△52	43	62	△19	41
502 本耶馬溪町	29	61	△32	18	54	△36	△4	16	43	△27	9
503 耶馬溪町	40	77	△37	39	90	△51	△17	40	85	△45	9
504 山国町	12	40	△28	15	46	△31	△3	17	50	△33	△2
521 院内町	41	81	△40	34	82	△48	△8	38	87	△49	△1
522 安心院町	51	108	△57	51	132	△81	△24	41	114	△73	8

(資料:人口動態統計)

出生数>死亡数(自然増)の市町村数	6	4	3
出生数=死亡数の市町村数	0	1	0
出生数<死亡数(自然減)の市町村数	52	53	55

## 5 乳児死亡数（率）

生後1年未満の死亡である乳児死亡数は、37人で前年より6人増加した。

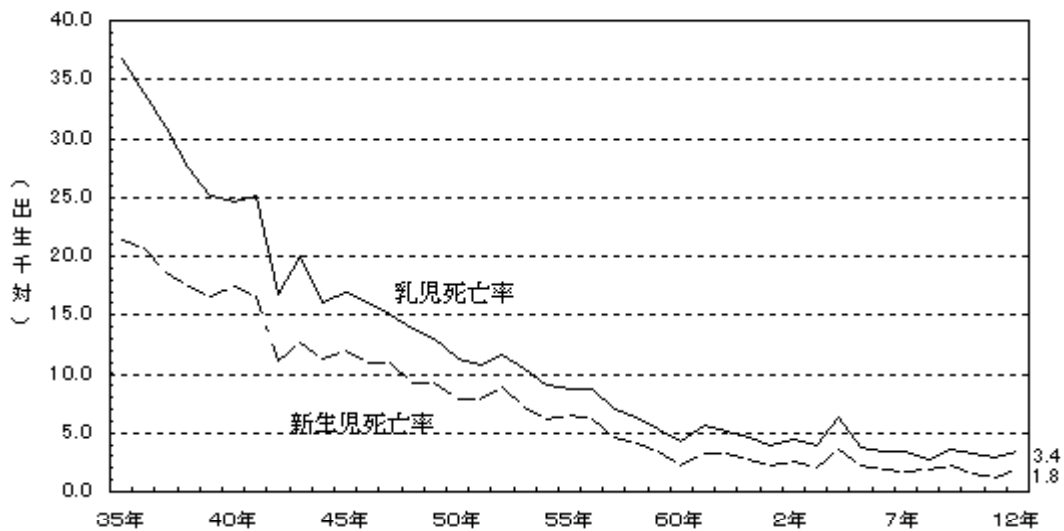
乳児死亡率（出生千対）は、3.4で前年の2.9を上回った。その年次推移をみると、昭和60年までは急激に低下し、その後は、上昇と低下を繰り返しながらほぼ横ばいに推移している。

## 6 新生児死亡数（率）

生後4週未満の死亡である新生児死亡数は、20人で前年より7人増加した。

新生児死亡率（出生千対）は、1.8で前年の1.2を上回った。その年次推移をみると、乳児死亡と同様にここ数年はほぼ横ばいに推移している。

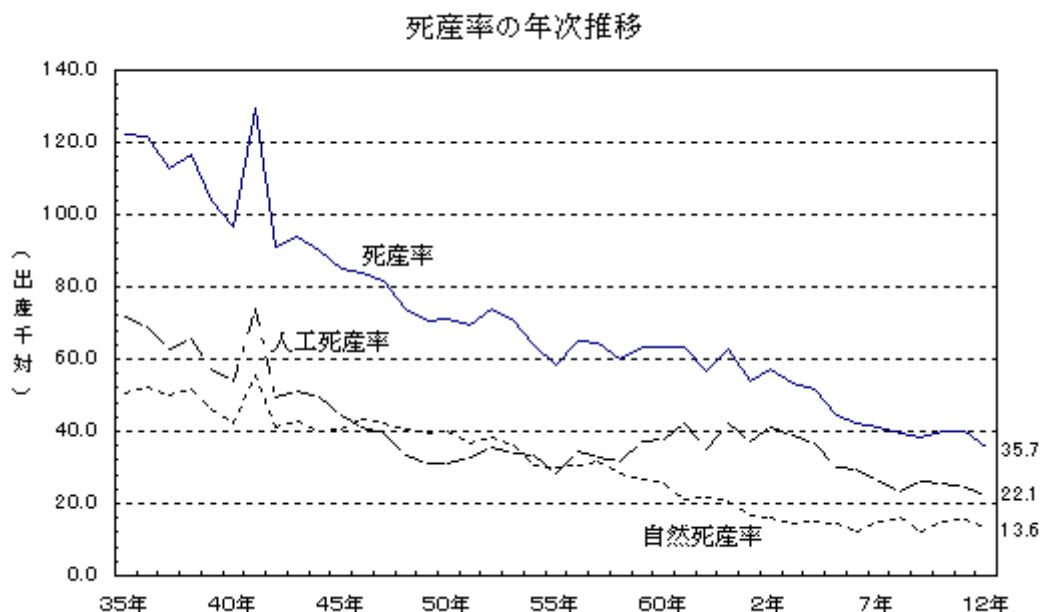
乳児死亡率と新生児死亡率の年次推移



## 7 死産数（率）

死産数は、404胎で前年より42胎減少し、その内訳は、自然死産数が20胎、人工死産数が22胎それぞれ減少している。

死産率（出産千対）は、35.7で前年の40.0を大きく下回り、過去最低となった。



## 8 周産期死亡数（率）

妊娠満22週以後の死産に、生後1週未満の早期新生児死亡を加えた周産期死亡数は、64で前年と同数であった。

周産期死亡率（出産千対）は、5.8で前年の5.9を下回った。これは出産数が増加したことによるものである。

## 9 婚姻件数（率）

婚姻件数は、6,977組で前年より749組と大きく増加した。その増加率は12.0%で全国一の伸びを示した（全国平均は4.7%）。

婚姻率（人口千対）も5.7と、前年の5.1を大きく上回り、全国一の伸びを示すとともに、全国順位も42位から27位に上昇した。

年次推移をみると、昭和48年以降減少を続けた後、昭和62年以降はほぼ横ばいに推移してきたが、平成12年は大きく上昇し、昭和59年と同じ率となった。

なお、平均初婚年齢は、夫28.1歳（平成11年は28.0歳）、妻26.7歳（平成11年は26.6歳）となり、ここ数年、夫についてはほぼ横ばい、妻については緩やかな上昇傾向となっている。

## 10 離婚件数（率）

離婚件数は、2,351組で前年より59組減少した。

離婚率（人口千対）は、1.93で過去最高であった前年の1.97を下回った。その年次推移は上昇傾向にあったが、平成12年は、平成2年以来10年ぶりに前年を下回った。全国順位（ベスト順位）は35位から18位に上昇した。

なお、全国の離婚件数（26万4246組）、離婚率（2.10）は、いずれも過去最高を更新している。

